

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院内分泌代謝科、間脳下垂体外科、病理診断科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2013年1月1日～2015年6月30日の間に、Cushing(クッシング)病のために虎の門病院内分泌代謝科に入院し、腫瘍切除術を受けた方

【研究課題名】

Cushing 病術後の下垂体機能回復を規定する因子に関する探索研究

【研究の目的・背景】

《目的》

Cushing 病の術後に下垂体機能が回復するまでヒドロコルチゾンの補充が必要となりますが、その補充期間は個人差の大きなものです。その期間にはどのような因子が関与しているのかを探索することが今回の研究の目的です。

《研究に至る背景》

Cushing 病では手術前後で高コルチゾール血症から副腎不全へと劇的な変化が生じるため、多くの患者に関節痛・全身倦怠感・情緒不安定などのステロイド離脱徴候が出現し、QOLが改善しないことが問題となっています。早期に下垂体機能が回復する方と、長期間回復しない方の違いがなんなのか、現時点ではわかりません。どのような因子が回復に関与するのかを突き止めることができれば、術前に対策を立てることができる可能性があります。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2018年8月10日～2019年3月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑

誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院内分泌代謝科・辰島啓太のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

検査データ、診療記録、MRI 画像データ、薬歴、看護記録、血液・尿所見、病理所見

【研究代表者】

虎の門病院内分泌代謝科 竹内靖博

【虎の門病院における研究責任者】

内分泌代謝科部長 竹内靖博

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2018年12月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 竹内靖博・辰島啓太

電話 03-3588-1111(代表)